

## 農村生活近代化のための 意向調査結果(未定稿)

農山漁村生活改善連絡協議会

社会環境部会長 野 口 松 雄  
 幹事 岡 田 美 代 子

### I はじめに

米の生産調整、農村地帯への工場、住宅団地の進出等、農業や農村をめぐる変化は激しいものがあり、そこに住む人々にも大きな影響を与えていることが予想される。

農業及び農村生活の指導については、こうした現状を十分把握することが必要と考え、県内全域の農業者に対して、ききとりを主とした調査を生活改良普及員に依頼し実施した。

調査対象総数は、本県農家の約1%にあたる783戸で、経営類型では専業農家 187戸、自立志向農

家80戸、第1種兼業農家277戸、第2種兼業農家239戸、であり、地域、地帯区分としては、農林統計により、都市近郊94戸、平地農村474戸、農山村142戸、山村73戸に地帯分類をした。

記入者は、経営主より婦人の方が多く、年代では、40才代、30才代、50才代の順になっている。

経営の主体者は、専業農家と自立志向農家では男子が多く、第1種、第2種兼業農家では女子が多い。主な働き手としては、男女とも40才代が最も多く、次いで30才代、50才代となっている。

調査書、調査の概要は次のとおりである。

### II 調査書

農村生活の近代化についての対策資料とするための調査表です。よろしくご協力くださいますようお願いいたします。

富山県農山漁村生活改善連絡協議会 社会環境部会

○印または書いてください。

市町村 部 落

経営状況

種 別	面積	種 別	規 模
水 稻		家	鶏
や さい	葉菜		豚
		畜	和牛
	根菜		乳牛
球 根			

家族構成

(記入者のところに○印、経営の主体者には△印、主な働き手には□印をつけてください。)

年 令	男	女	計
70才以上			
60才代			
50才代			
40才代			
30才代			
29才～小学1年			
小学校前			
計			

地域・地帯区分

・都市近郊 ・平地農村  
 ・農山村 ・山村

経営種別

・専業 ・自立志向  
 ・1兼 ・2兼

- 米の生産調整以後お宅の農業経営はどうなりましたか。
  - 規模拡大に努めている
  - 転作に力をいれている
  - 以前より兼業にでることが多くなった
  - 以前と変わらず兼業にでている
  - どうしたらよいかまよっている
- お宅の農家経営についてこれからどう考えていますか。
  - 自立経営農家としてすすみたい
  - 兼業農家として現状のまますすみたい
  - 兼業農家として耕作面積または規模を減らしたい
  - 請負してくれる人があれば全部たのみたい
  - 機械の共同利用や生産の組織化をすすみたい
  - 規模拡大をすすみたい

- 7 商売をしたい      8 もっとよいつとめ口につとめたい
3. 子供に農業のあとつぎをしてほしいと思いますか。  
 1 ぜひあとをついでほしい      2 できるならついでほしい      3 子供の自由にさせる  
 4 農業はやめたいと思っている
4. あとつぎ夫婦と暮らすことについての考え方はどうですか。  
 1 一つの家と一緒に暮すのが当然だ      2 近くに別れて暮したい      3 別れて暮す方がよい  
 4 子供にまかせる
5. お宅の年間総所得はどのくらいですか。  
 1 50～100万円      2 100～150万円      3 150～200万円      4 200万円以上
6. 1ヵ月の家計費はどのくらいですか。(現金支出だけ)      (      円)
7. 家計費は誰がさいふをふっていますか。(夫婦の場合は2つに○印を)  
 男 70才代以上    60才代    50才代    40才代    30才代    20才代以上  
 女 70才代以上    60才代    50才代    40才代    30才代    20才代以上
8. 子供の洋服、教育費は誰がだしますか。(子供を主体にして考える)  
 1 祖父母      2 祖父母からもらった母      3 父      4 母
9. 農外労働日数は年間どのくらいですか。(主婦)  
 1 恒常的勤務      2 200日以上      3 150～200日      4 100～150日  
 5 50～100日      6 50日以下
- ・ 収入はおよそどの位ですか。  
 1 日当(      円)      2 月給(      円)
  - ・ 農外労働はつづけますか。  
 1 やめたい      2 5年ぐらいつづけたい      3 ずっとつづけたい
  - ・ 小学校前の子供がいる人は誰がみていますか。  
 1 保育所      2 祖父      3 祖母      4 近所に預けている      5 その他
10. 夕ごはんの仕度は主に誰がしますか。  
 1 祖母      2 主婦      3 嫁      4 娘      5 その他(      )
11. 家族を中心としてどんなことをやっていますか。  
 1 旅行      2 ドライブ      3 温泉行      4 ハイキング等      5 誕生会  
 6 音楽、映画等の観賞
12. 農業技術の講習会、座談会、実地研修等の会合によくでますか。  
 1 たいていかかさずでる      2 ととききでる      3 たまにでる      4 全然でない  
 ・ 誰がでますか。      1 夫      2 妻      3 その他(      )
13. 生活関係の講習会、座談会、実施研修等の会合にでますか。  
 1 たいていかかさずでる      2 ととききでる      3 たまにでる      4 全然でない
14. 部落の会合(上記以外)にでますか。  
 1 たいていかかさずでる      2 ととききでる      3 たまにでる      4 全然でない  
 ・ 誰がでますか。      1 祖父      2 祖母      3 主人      4 主婦      5 息子
15. あなたの地区は以前にくらべてすみやすいですか。  
 1 住みやすくなった      2 住みにくくなった
16. 住みにくい理由は何ですか。

- 1 住宅、団地、工場ができたため昔のよさがなくなった      2 日常の買物が不便  
 3 娯楽施設が少ない      4 自然条件がきびしい      5 隣近所とのつきあいが大変だ  
 6 医療施設が少ない      7 ごみが多くなった      8 その他

17. 昨年1年間に部落（地域）で行なわれた行事に家族の誰かが出席しましたか。

- 1 神社境内の草とり      2 集会場の掃除      3 運動会      4 レクリエーション  
 5 お講      6 道路愛護      7 川ざらい

18. 結婚式、葬式をやるとすればどこでしますか。

- ・ 結婚式    1 自宅      2 自宅以外  
 ・ 葬式      1 自宅      2 寺院      3 その他（            ）

19. あなたの村で必要だと思われる施設をかいってください。

- 1 育苗センター      2 ライスセンター      3 上水道施設      4 娯楽施設      5 医療施設  
 6 生活改善センター      7 保育所      8 スーパーマーケット      9 集会場

20. 農業だけに限らずやってほしい対策をなるべく具体的にかいてください。

### Ⅲ 調査書集計総数

地域区分	経営類型		1兼	2兼	計
	専業	自立志向			
都市近郊	20	16	19	39	94
平地農村	127	51	181	115	474
農山村	32	3	50	57	142
山村	8	10	27	28	73
計	187	80	277	239	783

- 4) 請負してくれる人があれば全部たのみたい      3.5%  
 5) 機械の共同利用や生産の組織化をすすめたい      15.1%  
 6) 規模拡大をすすめたい      7.4%  
 7) 商売をしたい      0.8%  
 8) もっとよいつとめ口につとめたい      2.3%

この質問は1問と関連したものであり、都市近郊、平地農村の専業、自立志向農家では自立経営農家としてすすみたい意向が圧倒的に多い。離農を示すような、商売をしたい、もっとよいつとめ口につとめたいという意向は兼業農家でも少ない比率であった。

### Ⅳ 調査結果

1. 米の生産調整以後お宅の農業経営はどうなりましたか。

- 1) 規模拡大に努めている      16.4%  
 2) 転作に力をいれている      17.2%  
 3) 以前より兼業にでることが多くなった      19.7%  
 4) 以前と変わらず兼業にでている      36.0%  
 5) どうしたらよいか迷っている      10.7%

専業農家や自立経営農家では規模拡大や転作につとめていることが多い。しかし、兼業農家ではどうしたらよいか迷っているものもみうけられる。

2. お宅の農家経営についてこれからどう考えていますか。

- 1) 自立経営農家としてすすみたい      25.3%  
 2) 兼業農家として現状のまますすみたい      45.9%  
 3) 兼業農家として耕作面積または規模を減したい      4.1%

3. 子供に農業のあとつぎをしてほしいと思いますか。

- 1) ぜひあとをついでほしい      25.4%  
 2) できるならついでほしい      30.9%  
 3) 子供の自由にさせる      40.6%  
 4) 農業は止めたいと思っている      1.8%

親として子供に農業のあとつぎをどう考えているかといった質問に対して、農業はやめたいと思っている人は少ないが、子供の自由にさせるという意向が最も多かった。

4. あとつぎ夫婦と暮すことについての考え方はどうですか。

- 1) 一つの家と一緒に暮すのが当然だ      63.5%  
 2) 近くに別れて暮したい      3.7%



- 3) 別れて暮す方がよい 4.6%  
 4) 子供にまかせる 30.5%

この質問も、3問と関連する面が多いが、親の立場からは、あとつきは結婚したあとも親と一緒に暮すのが当然だ、と考えるものが最も多く、ついで子供にまかせるという意向が多い。

5. お宅の年間総所得はどのくらいですか。

本県農家の平均所得は 1,705千円（農林省統計調査事務所45年度調査）であるが、この調査でも 150～200万円までの階層が多い。次いで 100～150万円の階層である。

なお、この調査農家の平均農家世帯人員は、5.15人で、農林省統計調査事務所調査の4.74人より多い。

6. 家計費についての質問であったが、十分な答が得られなかったためはぶく。

7. 家計費は誰がさいはいをふっていますか。

（夫婦の場合は 2つに○印を）

70才代以上	男 3.5%	女 1.7%
60才代以上	男 14.3%	女 9.3%
50才代以上	男 21.2%	女 21.0%
40才代以上	男 24.9%	女 30.1%
30才代以上	男 8.2%	女 14.7%
20才代以上	男 1.0%	女 1.9%

家計費のサイハイは男女ともほぼ半々であり年代では40才代が多い。

わずかではあるが、70才以上でも家計のサイハイをふっていることが注目される。

8. 子供の洋服、教育費は誰がだしますか。

- 1) 祖父母 5.2%  
 2) 祖父母からもらった母 5.4%  
 3) 父 38.4%  
 4) 母 53.8%

子供の洋服や教育費については、母親の手から渡すものが約半数で最も多いが、若干ではあるが祖父母から、祖父母からもらった母があることは、7問の家計のサイハイとともに注目されよう。

9. 農外労働日数は年間どのくらいですか。

（主婦）

農外労働については、50日以下と100～150日までで水稲単作農家の主婦が多い。収入は、日給で 1,000円～1,300円程度が多い。

また、農外労働をずっと続けたい希望が最も多く、中でも農山村にこの意向が多い。子供の世話は、年齢、保育所の有無にもよるが、祖母にまかされるものが保育所に預けているものより多い。

10. タゴはんの仕度は主に誰がしますか。

タゴはんの仕度は、主婦が圧倒的に多い。ことに農山村に多い。

11. 家族を中心としてどんなことをやっていますか。

- 1) 旅行 14.2%  
 2) ドライブ 23.8%  
 3) 温泉 21.2%  
 4) ハイキング等 8.2%  
 5) 誕生会 16.2%  
 6) 音楽、映画等の観賞 1.7%

家族中心のレクリエーションでは温泉行が多い。農山村では自家用車によるドライブが多い。誕生会や音楽映画等の観賞はまだ少ない。

12. 農業技術の講習会、座談会、実地研修等の会合によくでますか。

- 1) たいていいかかさずでる 44.3%  
 2) ときどきでる 31.2%  
 3) たまにでる 19.9%  
 4) 全然でない 4.1%

・誰がでますか。

夫 52.2% 妻 35.5% その他 11.6%

農業技術の講習会、座談会等には妻より夫がたいていいかかさずでていることが多いが、2種兼業では妻の出席が多い。

13. 生活関係の講習会、座談会、実施研修等の会合にでますか。

生活関係の講習、座談会等には、ときどきでる。たいていいかかさずでる。たまにでる。がそれぞれ程度あり、農業技術に対するものとやちがう傾向がでている。

14. 部落の会合（上記以外）にでますか。

部落の会合にはたいていいかかさずでるのが最

も多く、上記の農業技術に関するものより出席が多い。出席者は主人が最も多い。

15. あなたの地区は以前にくらべてすみやすいですか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1) 住みやすくなった | 61.4% |
| 2) 住みにくくなった | 25.0% |
| 3) かわらない    | 9.2%  |

居住地は住みやすくなったとするものが最も多く、住みにくくなったものは都市近郊地帯に多い。

16. 住みにくい理由は何ですか。

すみにくい理由として都市近郊では、住宅団地、工場ができて昔のよさがなくなったこと、ごみが多くなったとするものが多い。山村地帯では自然条件がきびしいとする理由が多くあった。

17. 昨年 1年間に部落（地域で行なわれた）行事に家族の誰かが出席しましたか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1) 神社境内の草とり | 71.8% |
| 2) 集会場の掃除   | 39.5% |
| 3) 運動会      | 55.3% |
| 4) お講       | 57.3% |
| 5) レクリエーション | 46.6% |
| 6) 道路愛護     | 67.3% |
| 7) 川ざらい     | 71.9% |

地域ぐるみの行事への参加状況は、一般の予想に反して大変高いことがみられた。なかでも神社境内の草とりや川ざらいには参加率が高い。

18. 結婚式、葬式をやるとすればどこでしますか。

- |        |       |      |       |
|--------|-------|------|-------|
| 結婚式 自宅 | 75.1% | 自宅以外 | 25.8% |
| 葬式 自宅  | 92.2% | 寺院   | 5.6%  |

結婚式、葬式ともに自宅でする意向が圧倒的に多い。しかし、結婚式は自宅以外でする意向がこれだけあったことは、農家の人々の変化を示すものとして考えられる。

19. あなたの村で必要だと思われる施設をかいてください。

育苗センターは新しい稲作のあり方としてどの地域でも必要としている。

医療、上水道施設は農山村、山村地帯で必要性が高く表われている。

その他の施設として、子供の保育、日常の買物、集会場等農村地帯の生活環境が整備されていない状況が表われている。

20. 農業だけに限らずやってほしい対策をなるべく具体的にかいてください。

保育所の設置、集会場、育苗センター、医療施設の設置希望と道路整備の希望がめだって多くあった。

## V 調査を終えて

この調査によって農家の意向がすべて表現されているとは限らないが、各自それぞれがばく然ととらえられている事象が、最近の傾向として一応把握できたものと考えられる。

生産調整以降の農家経営は、経営類型によって差があることは当然である。経営の方向についてなやんでいるものは全体として少ないが山村や地域によっては兼業農家に悩みが見られる。

子供に対する気持としては、一緒に生活をして、できるなら農業のあとをついでほしいと考えているものが多く、現代の親の気持の現れとみるべきであろうか。

その他、家計に関すること、結婚式、葬式、地域に対する現状は、「農家」を感じさせるものが強い。地域の行事参加については、根強い社会的連帯感を感じさせられた。

しかし、農村、農家の新しい息吹きとして地域農業振興の対策、生活環境の改善対策、結婚式の自宅以外での実施希望等の意向は、注目すべきものがある。

この調査は、最近の農村農家の現状をみるうえで、内容、結果等今後にまたれるものも多く、他の関係調査結果も考慮して補完をしてゆきたい。